

第1回令和5年7月15日からの大雨に係る青森県災害対策本部会議 議事録

日時：令和5年7月15日（土）13：30～13：50

場所：北棟2階 災害対策室

○山上危機管理局次長

ただいまから、令和5年7月15日からの大雨に係る青森県災害対策本部会議を開催いたします。

はじめに、これまでの気象状況と今後の見通しについて、青森地方気象台 安ヶ平次長からオンラインで説明があります。

○安ヶ平青森地方気象台次長

青森地方気象台次長の安ヶ平です。

それでは梅雨前線による大雨について説明をいたします。

青森県では、津軽を中心に、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に嚴重に警戒が必要です。

ポイントです。青森県では前線や暖かく湿った空気の影響により、明日16日にかけて大雨となるところがあります。

概況です。梅雨前線は明日16日にかけて、東北北部付近に停滞して活動が活発な状態が続きます。

大雨につきましては、青森県では警報級の大雨となっているところがあります。津軽では、15日昼過ぎにかけて非常に激しい雨の降るところがあります。降雨のピークは今日日中、目先のところが中心です。

気圧配置です。梅雨前線が北上して、青森県付近に停滞をしています。太平洋高気圧の縁を回り込むように、非常に暖かく湿った空気が青森県を含む東北北部に集中的に流入している状態です。これは、明日の夜には前線の活動が弱まり、解消していくものと思われませんが、降雨のピークは今日日中、明日にかけては警戒が必要な状態が続くと考えています。

雨の実況です。記録的な降雨になっているところがあります。細い矢印で示しています深浦町ですけれども、本日11時までの12時間降水量、これが深浦町で135.5ミリ。7月の観測史上最大。7月で最も多い12時間降水量となっています。秋田県側では観

測史上最大となっているところがありますが、深浦町においてもそのような記録的な降雨になっているという実況です。

警報級となる可能性のある期間ですけれども、明日の明け方にかけてこの時間帯、県内全域、特に津軽地方を中心として警戒が必要な時間帯となっています。降雨の強いところが、今日日中ですけれども、一旦大雨になりますと、明日の始めの方まで警戒が必要な期間が延びるということで、特に土砂災害等に厳重に警戒が必要です。

今後の見通しにつきましては、目先のところを中心に津軽では1時間に50ミリの非常に激しい雨が予想されます。また、下北、三八、上北でも40ミリの激しい雨が予想されます。明日12時までの24時間に予想される降水量は、津軽では180ミリ。特に白神山地周辺ですとか、山岳付近が中心となります。また、下北、三八、上北でも多いところで120ミリといった大雨が予想されています。

防災関係の資料につきましては、気象庁ホームページにありますので参考になさってください。

また、防災気象情報の警報レベルが設定されております。土砂災害警戒情報又は河川の氾濫危険情報が、避難指示に対応するようなレベル4相当となっておりますので、ご留意をお願いいたします。

続きまして、気象庁ホームページで少し解説をいたします。現在、降雨は西津軽で、張り付くように白神山地の西側に湿った空気がぶつかって降雨が続いております。このような状況はもうしばらく続きそうです。そのために危険度が特に深浦町付近で高くなっています。土砂災害警戒情報を発表している深浦町では、危険度の高いところが見られる状況です。

また、河川につきましても、深浦町付近で危険度が高くなってきています。これまでの過去24時間の降雨量は、深浦町の実測で135.5ミリです。先ほど言いましたとおり、12時間の降雨量としては、今日11時までに、7月として最大の降雨量を観測している状態です。このような状況はもうしばらく続きそうで、警戒時間としましては、明日の明け方まで土砂災害に厳重に警戒というところで、また洪水にも警戒が必要です。

气象台からの説明は以上となります。

○山上危機管理局次長

ただいまの气象台からの説明について何か御質問等ありますでしょうか。

○宮下本部長

深浦町周辺の地域は分かりましたが、他の地域で今後危険度が高くなる見通しのある地域はありますか。

○安ヶ平青森地方气象台次長

今のところは、白神山地西側に張り付くような地形性の降水が卓越してしまっていて、すぐに他のところに警報が出るといった状況ではありません。

ただ、湿った空気が流れ込んでいる状況が継続していますので、他の地域についても警戒をお願いしたいところです。

○宮下本部長

ありがとうございました。

○山上危機管理局次長

続きまして、現在の対応状況として、統括調整部長から説明があります。

○坂本統括調整部長

「大雨による被害について」という資料に基づいて御説明いたします。

警報等の発表状況は御覧のとおりでございます。

避難指示、避難所の状況ですが、別紙1で、縦長の表がついていますので御覧ください。現在市町村では弘前市、深浦町、中泊町においてそれぞれ災害警戒本部を設置しているところです。

それから避難の状況ですが、深浦町において避難指示が出ていまして避難所4ヶ所を開設しています。対象は112世帯234名、本日12時現在の避難者が11名となっています。

お戻りいただきまして被害状況ですが、現在のところ人的被害はなしです。建物被害については調査中です。

鉄道につきましては、新幹線は平常運転ですが、奥羽線の一部としてリゾートしらかみ等が運休となっています。また、五能線についても一部運休区間があります。それ以外については平常運転ということになります。航路に関しては、陸奥湾フェリーの全便

欠航以外は平常運航。空路も平常運行です。バスにつきましては、弘南バスが十二湖線におきまして一部運休があるといったような状況です。

それから県の体制ですが、本日9時40分に大雨に係る災害警戒本部を設置いたしました。12時25分に災害対策本部に格上げしまして、13時30分に対策会議を開催している状況です。

地図上に丸印が何ヶ所かプロットされていますが、これは消防から通報があって、今現在対処しているところになります。赤丸で深浦町の沿岸に沿って何件かありますが、ほとんどは側溝があられそうで土嚢を積んでいるといった処置をしているものですが、一番下の秋田県境付近の状況につきましては、写真の左手が山側になりますが、民家付近で山から土砂崩れがあったという状況です。ただし、お住まいの方については既に救助され、現在避難中ということで、けが等の情報は入っておりません。

これに伴いまして、今現在、国道101号が通行止めといったような状況になっていません。

現在の状況は以上です。

○山上危機管理局次長

他に、各部から何か説明等があれば、発言をお願いします。

○永澤県土整備部長

県土整備部です。

お手元に配付しております別紙2、「7月15日の大雨の対応について(県土整備部)」の資料を御覧ください。

まず道路ですが、昨日までに岩崎深浦線他4路線について、通行止めを行っています。これについては、7月18日の12時に解除する予定です。先ほど説明がありましたが、本日新たに国道101号について、100メートルにわたって土砂流出により通行止めを行っています。場所は秋田県の県境から600メートル北、深浦町側の深浦町大間越というところになります。規模が法面側だけで、高さで10メートルぐらいの崩落で、延長方向約40メートルで1メートルぐらい堆積している状況になっております。ここはまだ法面から出水がありますので、作業に入れない状況です。現地で警察と協議していますが、今後2時過ぎあたりから法面からの出水の状況を見ながら作業に当たりたいと思います。そしてまず、片側通行できるような対処をしたいと思います。ここは迂回路

が残念ながら近くにありませんので、広域迂回になります。能代からずっと大館の方まで行って弘前まで行かなければならないという広域な迂回路になり、近隣の迂回路はないという状況になります。ですから、地形状況とか法面からの出水状況によりますが、できれば早めに片方は開けたいと思っております。作業に入るとすれば1時間ぐらいでできますので、重機は近くに待機させている状況です。

河川関係です。県管理河川で氾濫危険水位を超えている河川はありませんが、深浦町岩崎の笹内川が水防団待機水位を超えている状況ですので、水防団を1か所待機させている状況です。

県土整備部は以上です。

○山上危機管理局次長

他にありますか。

○赤平農林水産部長

農林水産部の対応状況としましては、昨日より臨時農業生産情報を発出しています。事前と事後の対策等を示していますが、まず危険な場所に近づかないということ、今も雨が降っておりますので、事後の対策、特に排水対策が中心になります。そちらも危険な状態ではなく、安全を確保した上でやっていただくということを発出しています。

それから水稻の状況、今生育ステージが幼穂形成期、穂を一生懸命作っている段階で、つまりまだ出穂をしておりますので比較的浸水には強いステージです。

以上です。

○山上危機管理局次長

ありがとうございます。警察本部長。

○磯県警本部長

災害関係の110番の状況を御報告します。先ほどの深浦町の土砂崩れ以外に倒木が2件、110番が入っています。青森市内が一つと五所川原市内の一つです。いずれも人的物的被害は把握しておりません。

以上です。

○山上危機管理局次長

ありがとうございます。次に、「災害対応目標及び対応方針」について、統括調整部長から説明があります。

○坂本統括調整部長

「令和5年7月15日梅雨前線による大雨に係る災害対策本部災害対応目標および対応方針」としてワンペーパーにまとめていますが、この内容につきましてはこの後部長からの指示ということで知事をお願いいたします。

○山上危機管理局次長

それでは本部長から指示事項がございます。

○宮下本部長

深浦町を中心に被害が発生する可能性が非常に高い中、既に国道101号が一部通行止めとなるなど、被害が発生しています。

雨はその後小康状態になっていく見通しもあるようですが、最後まで油断せずに対応していきましょう。

その中でも、まず人命最優先で住民の安全確保について深浦町をはじめ、関係市町村としっかり連携して対応していただきたい、また、全庁体制による迅速な被害把握と、災害初動対応に万全を期していきましょう。そして、被災者及び避難者の状況把握と生活環境の確保をしっかりと行っていきましょう。

今朝、早速ホットラインで、吉田町長と少しお話をさせていただき、私からは、何かあってもなくても、遠慮なく連絡をいただきたいとお伝えしました。我々の関係の中でも、しっかりと情報収集等をしていきたいと考えています。

また、被害の状況等、あるいは気象の見通し等については様々なツールを使って、これからも積極的に情報発信していただくようお願いします。

私からは以上です。

○山上危機管理局次長

以上をもちまして、大雨に係る災害対策本部会議を終了します。